

2016.12 まちの誇り ぶち★ま きらい

梅光学院大学ハンドベルクワイア



主な活動は、学内でのさまざまな行事へ参加するほか、学外でも老人施設などに行つて演奏をするなど、積極的に地域の方との交流を行つています。

「自分たちが好きでやっていることが、少しでも地域に役立つてくれたらという思いを持って取り組んでいます」と部長の藤田さんから、地域の方との触れ合いを大切にしている気持ちが強く伝わってきます。

一つの音を担当する責任

クリスマスの時期に、よく耳にするベルの音色。「ハンドベル」が奏でています。この楽器は、40年以上前、イギリスで生まれたものです。1個のベルで一つの音しか奏でることができないこの楽器は、曲を演奏するためには、通常2オクターブから6オクターブのベルを用意する必要があります。

活動を続けて28年 地域の方との交流を大切に

同クラブの創部は、1988年。今年で28年目を迎えます。現在の部員は17人。そのうち4人は男子学生です。3時間30分程度の練習を週2回行っています。

心に響く演奏で 地域の方に笑顔と癒しを

「これまで多くの先輩が築いてきた地域の方との交流を大切にするとともに、新しい所でも演奏するよう積極的に活動をしていきたいです。ハンドベルを通じてたくさんの方とつながれたらいいと考えています。そして音色と一緒に聴いてくださる方に笑顔や癒しを届けられるよう今後もメンバー全員で活動に取り組んでいこうと思います」と部長の藤田さんからハンドベルに込めた力強いメッセージを受け取りました。

笑顔と癒しを届ける「梅光学院大学ハンドベルクワイア」の心に響くハンドベルの音色と共に今年も暮れていきます。

梅光学院大学 クリスマス礼拝



回12月22日(木) 午後5時00分
6時30分 麗梅光学院大学
ジェスホール(市内向洋館一丁目)
梅光学院大学(☎271000)



施設での演奏会。そろいの衣装で息ぴったり。



一人でいくつものベルを担当します。



私たちのハンドベルで皆さんを癒します。



タイミングが大切！
集中してハンドベルを奏でます。



低音の大きいベルと
高音の小さいベル。
低音は体力が必要です。